



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2023/2024)
国 際 会 長 : 輝かそう、あなたの光を
アジア太平洋地域会長 : 変革のための光となるう
西 日 本 区 理 事 : 未来に灯そう (ともそう) 希望の光り
中 部 部 長 : みんなで参画
名古屋クラブ会長 : 人生の喜びを大いに分かち合おう ワイズと共に!

2023 ~ 2024 4 月号 (No927)



名古屋ワイズ
ホームページ



名古屋ワイズ
FACEBOOK

4 月例会プログラム

と き : 2024 年 4 月 9 日 (火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
と ころ : 名古屋 YMCA

開会宣言 司 会 谷川 修
会長 戸田 真二
ワイズソング
聖書朗読・祈禱 川口 恵
卓話 : 子どもが「助けて」と言える社会をめざして
子どもの虐待防止ネットワーク・あいち CAPNA 理事
山本秀樹氏
ハッピーバースディ・諸報告・ニコボックス
閉会宣言 会 長 戸田 真二

食事の用意の為に“出欠の連絡”を4月6日(土)までに必ず川本書記までしてください。無駄な食材や出費を出さないためにも 出欠連絡をよろしくお願いたします。

第 2 例 会

と き : 2024 年 4 月 15 日 (月) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
と ころ : Zoom

プログラム : 今期・来期プログラムと例会の持ち方、その他
※今期も第二例会の曜日が変更になっています。ご注意ください。

5 月号 原稿担当者

巻頭言 川本 龍資 4 月第一例会レポート 谷川 修

会 長 戸田真二 書 記 川本龍資
副 会 長 加藤明宏 会 計 平野実郎、谷川修
プリテン 渡辺真悟、戸田真二、平野実郎

私の趣味 (好きな音楽・血の騒ぐ歌)

渡 辺 真 悟

今回はワイズから離れ私の趣味である音楽について書かせていただきます。音楽と言っても広く私もいろいろな音楽を聴きますが よく聞くのはやはり洋楽が多く 特に 1960 年代から 70 年代に流行ったアメリカのロック、フォーク、ポップスが好きです。聞くだけでなくギター弾きながら歌ったりもします。特に最近は小さなライブハウスに時々出演しています。ギターは時々ワイズや YMCA の行事でキャンプソングの伴奏などでも披露させて頂いている通りです。

1960 年代から 70 年代のアメリカはベトナム反戦運動、黒人の公民権運動が盛んで 歌もその影響を強く受けただけでなく その推進役の一翼を担っていました。いわゆるプロテストソングや反戦歌と言われるジャンルで 有名なのボブディラン作曲で PPM の歌でも流行った“風に吹かれて” (Blowin' in the Wind) でしょう。私は中学生の頃にこれでギターのピッキングを覚えました。因みに当時は日本のフォークソングが立ち上がる時期で それに大きな役割を果たした岡林信康は牧師先生の息子 高石友也は YMCA と関係が深い方です。

つい先日 NHK/BS のアナザーストーリー「ボブディラン～ノーベル文学賞原点的ステージ」をご覧になった方はいらっしゃるでしょうか。1965 年 7 月にニューポート・フォーク・フェスティバルでそれまでフォークのプリンスと呼ばれていたポップ・ディランが 生ギターをエレキギターに持ち替えて初めてロックバンドをバックに歌いました。生ギター伴奏のフォー

3 月クラブ出席		B	F	3 月 個 人 出 席				第 一 例 会 ゲ ス ト (敬称略): 山川潔、 京都フローバルクラブ: 寺久保吉雄、櫻田真也、澤田賢司、 福本匡宏、藤原君仁、田中満紀子、堀井力、山本啓介、 大谷成子、多井哲也、大石周生、梶村隆之、竹内良和 フィリピンフレンドシップキャンプ: 小島陽 (せんずスタッフ)、平田祐理 (ゆりせんせい)、 近藤梨々香 (いくらリーダー)、古平華萌 (おとリーダー) ピンクシャツデー協賛テレビ塔ライトアップ 3 月 3 日 相馬、中井、渡辺 お年五年賀はがき: 平野 3 枚、加藤 4 枚、相馬 4 枚 塩田 5 枚 谷川 16 枚 (計 32 枚 4,704 円クラブファンドへ)			
在 籍	名	切手	Opt	氏 名	第 1	第 2	氏 名		第 1	第 2	
第 1 例会	17 名	3 月	現金	0pt	小 尾		都 築	○	R	○出席 R リモート出席 M メーキャップ	
メネット	0 名		現金	0pt	加 藤	○	戸 田	○	R		
ゲスト・ピジター	18 名		小計	0pt	川 口		中 井	○			
第 2 例会	8 名	7 ~ 3 月 累 計	切手	0pt	河 部	○	中 村	○			
メネット	0 名		現金	0pt	川 本	○	西 村	○	R		
ゲスト・ピジター	0 名		現金	0pt	塩 田	○	平 野	M	R		
メーキャップ	1 名		現金	0pt	鈴 木		深 谷	○			
出席率	93%	合計	0pt	相 馬	○	渡 辺	○	R			
				谷 川	○	R					

クソソングが聞けるとして来ていた観客は ロックを聞かされて期待を裏切られ 非難轟轟ヤジが凄かったようですが、その後のポピュラーミュージックに大きな影響を与え フォークもロックも表現の幅を大きく広げ 融合も拡散も進みました。

私自身も高校生の頃からだんだんロックミュージックも聞くようになり今に至っていますが いわゆるプロテストソングとかメッセージソングと言うものに出会うと今でも血が騒ぎます。この手のジャンルの歌はベトナム戦争の終焉とかカ

ウンターカルチャーの衰退、社会の保守化などで余り聞かなくなりましたが、意外にも思われるかもしれませんが日本でもたまに有名な人が作曲してまして、小田和正の“生まれ来る子供たちの為に”、サザンオールスターズの“平和の鐘が鳴る”、ザ・ブームの“島唄”など 強いメッセージを持った歌が生まれています。

ラブソングでも反戦歌でも あるいは皆を元気づける歌でも何か訴えかけるメッセージを持った歌が私は好きですね。

■■■ 第 1 例会レポート ■■■

と き：2024年3月12日(火)
7:00 p.m. ~ 8:50 p.m.
と ころ：ラ・スース ANN

3月第1例会は、場所をラ・スースANNに移して、盛大に開催されました。昨年9月の中部部会の席で、戸田会長に京都グローバルクラブの方から声をかけられたことがキッカケとなり、総勢31名の例会が実現しました。通常の合同例会ではなく、名古屋クラブの通常例会に京都グローバルクラブの多くの方が参加するという、私は経験したことがない例会となりました。

メインプログラムは、今年2月に実施された「フィリピンフレンドシップキャンプ」の報告会でした。ユース(ユースリーダー2名、職員1名、教員1名)の参加者と中井メンの報告は、若者らしいドキドキ感が感じられ、好感の持てるものでした。「若き日に創り主を覚えよ」ではないですが、若い時に貴重な体験をすることによって、人生の大きな転機となることでしょう。気づき・感動・抱負に満ちた報告は、YMCAがユースを育てる機会を提供し、ユースが次の社会を築いていく(地域社会の変革者としてのチェンジエージェント)ことを期待させるものでした。

会食では、ラ・スースの美味しい料理を味わいながら、各



テーブルでは京都と名古屋のメンバーが様々な会話を交わし、情報・意見交換ができた貴重な時間でした。我々ワイズメンバーも気づきと感動が与えられ、我がクラブを見直す時でもありました。ミニバナーの交換は久しぶりに見た気がします。また記念の集合写真は、皆さん良い表情で写っています。(目を凝らしてご覧ください)

理事輩出クラブとしての責任を果たせたかどうかはわかりませんが、京都グローバルクラブからは、「YMCAとともにあるワイズメンズクラブ」との感想をいただき、ユース時代からYMCAに関わった深谷理事輩出の意義は大きかったと思います。大勢の京都グローバルクラブの皆さま、名古屋までお越しいただきありがとうございました。有意義な例会となりましたことを心より感謝申し上げます。(加藤 明宏)



会長のバナー交換



フィリピンキャンプ報告



現地YMCAの方と派遣メンバー

4月 第一例会講師



山本秀樹氏

今月の第一例会は子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA）の理事山本秀樹氏から子どもの虐待防止についてご講演をしていただきます。山本秀樹氏は元金城学院中学校教諭でCAPNA理事、愛知いのちの電話協会評議員でいらっしゃいます。以下は事前に講師から頂きました資料です。

子どもが「助けて」と言える社会をめざして

「ぎゃくたい」は漢字で「虐待」と書きます。「虐」は「むごく扱う」という意味で、字源は「虎」と「爪」の組み合わせになり、虎が人を捕食するむごい姿が連想されます。さらに虐待の深刻性は本来子どもを守るべき親が逆に加害者になることです。ところが子どもの虐待防止ネットワーク・あいち（CAPNA）の相談電話やメール相談には、自責の念に苦しむ加害親の叫び声が多く寄せられます。そこにはむごい姿を表す「虐待」のイメージはありません。加害親も実は被害者なのです。虐待に代わる相応しい表現はないのでしょうか。「不適切な養育」を意味する「マルトリートメント」[maltreatment]（mal = 悪い + treatment = 扱い方）も虐待と同じ意味に使われます。

さて児童虐待には「身体的虐待」「心理的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」の4類型があり、2022年の児童虐待対応相談件数は219,170件で60%は「心理的虐待」でした。子どもの面前で行われるDV（面前DV）が改正児童虐待防止法で「心理的虐待」と認定されて増加しました。虐待には子どもの「助けて」を親以外の社会が受けとめる必要があるのです。

■ ■ ■ 第2例会レポート ■ ■ ■

と き : 2024年3月18日（月）19:00～20:30

ところ : Zoom リモート

1. 2023-2024 下半期例会プログラム

月日	曜日	会場	プログラム
4	9	火 YMCA	①卓話
	15	月 ZOOM	②役員会
5	14	火 YMCA	① TOF 例会 次期事業計画
	20	月 ZOOM	②役員会
6	11	火 YMCA	①卓話
	17	月 ZOOM	②役員会

- ・4月第一例会 4/9（火）卓話講師 山本秀樹氏（子どもの虐待防止ネットワーク CAPNA 理事）

テーマ：子どもが「助けて」と言える社会をめざして
ロースターの確認をしますので住所・連絡先等変更のある方は当日修正をお願いします。

- ・5月の第一例会 TOF 例会とする（お弁当はありません）次期事業計画作成及び新役員の確認を行う。新役員は5月末西日本区へ報告。
- ・6月卓話者候補 犬養さん（名古屋 YMCA 日本語学校）に打診する：担当渡辺

2. 3月第1例会の振り返り

参加者：31名 名古屋13名、京都グローバル13名、YMCA4名、ゲスト1名

YMCA フレンドシップキャンプの報告会。

詳細は第一例会レポート参照。

3. 第27回 西日本区大会申し込み

会員は早目の申し込みをお願いします。カード払い可です。大会の前夜祭は多くの実行委員は翌日準備のため参加が難しいことに注意

4. 西日本区事業献金の納付 3/15

今期に限り100%とし不足分はクラブ会計より補填する。来期からは献金分のみを送金。
送金額19名 = 142,500円（内訳：メンバー献金10名 = 75,000円、クラブ補填 = 67,500円）
未納の方にはプリテンにて献金を再度募る。尚、BFは今期で終了し、古切手は南山幼稚園へ

5. YMCA より

3/20（水・祝）リーダー感謝会 17:00-18:30 南山ファミリー YMCA 参加：渡辺・相馬・戸田・川本

6. その他

- ・プリテン原稿担当（毎月20日締め切り：渡辺ワイスまで）
4月巻頭言（渡辺）、3月第一例会レポート（加藤）
5月巻頭言（川本）、4月第一例会レポート（谷川）
その他のプリテン原稿確認 各部会等参加者は連絡ください。

名古屋ワイス ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイスメンズクラブの様々な情報はパソコンからはホームページ：<https://nagoya-club.wixsite.com/toppage>
FACEBOOK：FACEBOOKで名古屋ワイスメンズクラブと検索
スマホからは、1p表題にあるQRコードをスキャンすれば見ることが出来ます。一度覗いてみて下さい。

ハッピーバースデー

メン	メネット
11日 中井信幸さん	1日 加藤朱美さん
21日 塩田 保さん	5日 谷川智子さん



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「二羽の雀が一アサリオンで売られているのではないか。だが、その一羽さえ、あなたがたの父のお許しがなければ、地に落ちることはない。あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。だから、恐れるな。あなたがたは、たくさんの雀よりもはるかにまざっている。」

(マタイによる福音書 10 : 29 - 31)

西村 清

最近家の近くの公園にたくさんいた雀がめっきり少なくなつたような気がする。聖書の時代のパレスティナ地方にも広く生息していたようです。だから市場では雀が売られていたのです(焼き鳥の材料です)。その値段は「二羽で一アサリオン」でした。アサリオンはローマの青銅貨で、まあ、100円くらいでしょうか。

イエスはありふれた、価値の乏しい存在である雀を取り上げて、神の愛を説かれるのです。鷲とか孔雀とか鶴といった強い鳥や美しい鳥でなく、取るに足りない雀を例にあげて話されるのです。「その一羽の雀さえ、あなたがたの父なる神様の許しがなければ、地に落ちることはない。」こうイエスは言われるのです。

しかしイエスにとって、雀は一つの例に過ぎないのです。イエスは続いて、「あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている」と言われているように、イエスの関心は

むしろ私たち人間に向けられているのです。イエスのまなざしはこのようなくありふれた、価値の乏しい存在に注がれています。

わたしたちは、ともすれば豪華で、華々しい、人目にたつ存在に注意を向けがちです。そしてまた、自分が目立つようになろうとします。あるいは逆に、自分のようなつまらない者には誰も注目してくれないと嘆いたりするのです。しかしイエスのまなざしは、いつも目立たない価値のないような存在に注がれているのです。

人間が生きていくためにはいろいろな悩みや苦しみがついてまわります。しかしそれにもかかわらず、人間の存在は、かけがいのない存在として、「あなたがたの父なる神様」の慈悲、恵みによることを、イエスは一羽の雀を通して示されているのです。

.....

YMCA ニュース

リーダー感謝会

3月20日(火・祝)にリーダー感謝会が行われました。3~4年間の活動を振替って涙ながらに語ってくれたリーダーたちに感謝したいと思います。今回リーダー活動に区切りをつけて卒業するリーダーは、コロナで1回生の時はずっとZoomでの授業を強いられた地方から出てきて一人暮らしのリーダーは友だちもできないまま、部屋で過ごすしかなかったそうです。「当たり前が、当たり前でなくなっ

た」世代です。名古屋YMCAでは「教育が止まることは無い」という考えで出来る限り感染対策を行いプログラムを実施していたので、リーダー活動も実施され、頑張ってくれました。感謝の盾や記念品が贈られ、思い出話やスライドに泣き笑いました。リーダーの成長を見ていると「これがYMCAで働くことのやりがい」と感じました。苦しいコロナ禍にあっても、道を失わず「求め続け、歩みを止めなかった若者」が「多くの賜物を得て」巣立っていきました。でもいつでもYMCAを故郷のように思っていてきて欲しいです。You Must Come Again. (中井信幸)

.....

テレビ塔がピンクにライトアップ

いじめを無くそう!の活動「ピンクシャツデー」をアピールするため 名古屋米のテレビ塔(中部電力ミライタワー)が2月28日から3月3日まで名古屋ロータリークラブさんの協力を得て ピンク色にライトアップされました。ライトアップ最終日の3月3日曜日には 子供達との野外活動を終えたリーダー達20数名が「ピンクシャツ

デーがうっていい名古屋YMCA」と大きな紙に書いたポスターを持って集合。それに数人の子供たちとワイズメン10名弱が加わって街行く人にアピールしました。

ピンクにライトアップされたテレビ塔をバックに撮影された写真をはじめ、様々なピンクシャツデーをアピールする写真はたくさんの方がSNSのInstagramに投稿しますので “nagoyaymcapink” や “nagoya_ymca” で検索して見るとおもしろいですよ。(渡辺真悟)